

食で命を支える仲間になりませんか？

# フードバンク仙台 ボランティア募集イベント **開催**

このたび、フードバンク仙台は当団体のボランティアに興味がある方などを対象に、  
普段の私たちの活動内容を紹介するイベントを開催します。

2026. **4.26** 日 14:30~16:00  
(14:00開場)

**参加  
無料** **要申込**

会場

仙台市戦災復興記念館 4階・第2会議室 仙台市青葉区大町2-12-1  
[Zoom]によるオンライン参加も可 ※ZoomのURLはお申込完了後にメールで送付いたします。

参加  
方法

申し込みフォームにて受付しております。

※開催日前日・4月25日(土)22:00まで受付

※イベントに参加できないボランティア希望の方向けに、個別説明会の日程調整も可能です。

参加申し込みフォーム

<https://forms.gle/cD9tkKrvL2LgzvoH9>



## 2025年度の食料支援依頼の件数や事例、 食料支援の利用者からのお礼のメッセージを多数紹介。

さらに、実際にフードバンク仙台的ボランティアに参加している方々にもご参加  
いただき、参加のきっかけや普段のご自身のボランティア活動内容について話して  
いただく時間も設ける予定です。「どんな活動をしているのか知ってみたい」という  
だけでも大歓迎です。また、当団体にご寄付されたことがある方やご寄付をご検討中  
の方にもぜひご参加いただき、私たちの普段の活動の様子について知っていただく  
機会にさせていただければ幸いです。



## ボランティアの活動内容例

食料の賞味期限確認／食品の棚入れや棚出し／食品の梱包作業／  
自家用車を利用した食料品の回収・配送／困窮世帯に届けるための農地での野菜作り／  
生活困窮者の社会保障制度利用の支援等／外国人留学生向けの食料の対面受け渡し

●作業内容はご希望に合わせて相談可。●ガソリン代・駐車場代は団体負担。

●配送には自家用車と免許証が必要ですが、他のボランティア活動には知識や経験は必要ありません。

高校生から80代の方まで参加しています！  
男性・女性は半々の割合です！



活動日・  
時間

毎週 月・木・金(祝日除く)の日中に活動しています。「農地作業」は土・日が中心です。  
1週間のうち3時間以上を目安にシフト制でボランティア可能です。

主催・お問い合わせ

貧困と飢餓をなくす

NPO法人

**フードバンク仙台**



<https://foodbanksendai.com>

フードバンク仙台

検索

お問い合わせ

電話 **080-7331-6380** (開所日のみ)

メール [foodbanksendai@gmail.com](mailto:foodbanksendai@gmail.com)

開所日時

月・木・金 / 10:00~16:00 (祝日休み)

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2丁目6-16 第2ショーケービル101号室



## フードバンク仙台について



私たちNPO法人フードバンク仙台は、貧困と飢餓を無くすことを目的に活動しているNPO法人です。

2020年5月に結成して以降、仙台市内に事務所を構え、2026年3月末までに延べ約4万2,000人の生活困窮者へ食料を無償で提供してきました。2025年度には過去最多となる約4,000世帯、約9,700人(いずれも延べ)に食料を提供しました。

食料価格やその他の物価が大きく高騰する一方で、最低賃金、年金や生活保護などの社会保障制度の給付額の上昇は追いつかず実質的に減額となっています。

こうした状況下で、私たちのもとには、水道・電気・ガス代の滞納で何らかのライフラインが停止している世帯や1日1食でしのいでいる世帯、家賃を支払えず退去通知が届いた世帯、3日以上何も食べていない一人暮らし世帯など、「飢餓」や「生存の危機」と言わざるを得ない相談が多数寄せられています。

行政の支援が行き届かない貧困が広がる中で、私たちフードバンク仙台は行政への政策提言や改善申し入れを行う一方で、自分たちでできる生活困窮世帯への無償の食料提供や生活相談支援を継続してまいりました。現在は100名近いボランティアが興味関心や得意分野を活かした様々な活動に参加し、食と希望と命を守る支援活動を支えています。

### 多数のメディアに活動を取り上げていただいています！

2025.11.13  
河北新報

2025.11.6  
河北新報

2025.5.30  
時事ドットコムニュース

2025.5.12  
ミヤギテレビ

### 2025年度・食料支援利用者からの「ありがとう！」メッセージ(一部抜粋)

「離婚して子供が3人、思うように生活が回らずお米も買えない状況で子供に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。そんな時にフードバンクを利用させてもらい、お米、お菓子、缶詰など沢山いただき助かりました。何より子供達が嬉しそうにダンボールを開けているのを見て本当に嬉しかったです」

「沢山の食料をいただき、フードバンクに寄付をしてくださる優しい方がたくさんいらっしゃるのだな、と温かい気持ちになりました。寄付してくださった方、スタッフのみなさんありがとうございました」

「梱包から丁寧でスタッフの方の真心を感じました。米が何より有り難かったです。おかずや嗜好品も自分では買えない物もあり、涙しながら頂きました。フードバンクさんがこの世に存在しなかったら餓死するのではと思いました。自立できることを希望にして、何かしらの恩返しができることを望んでいます」

「80代の病気の母と私だけの介護生活は1日、2日ですぐに行き詰まり頼みの綱のスポットワークも体調不良やすぐに求人が埋まる問題でなかなか行けず生活に困窮していました。令和の時代にこんなありえない困窮がありえるのか絶望していましたところフードバンクさんより食料支援をしていただけました。その日のうちに届けてくださった食品をみてこんなにいっぱい！！母も私も大変喜びました。本当にありがとうございます」

だれもが貧困や飢餓で苦しむことのない  
社会を目指して、一緒に活動しませんか？

WEBサイトから  
ボランティア活動の詳細をご覧ください。  
<https://foodbanksendai.com/volunteer/>

